

## 第 330 回 企業会計基準委員会議事概要

I. 日 時 平成 28 年 2 月 24 日（水） 14 時～15 時 40 分

II. 場 所 財務会計基準機構 会議室

III. 議 題

（審議事項）

- (1) 現在開発中の会計基準に関する今後の計画について
- (2) 税効果会計に係る指針の見直しに関する検討
- (3) IFRS のエンドースメントに関する作業部会における検討状況

（報告事項）

- (1) IASB 公開草案「IFRS 実務記述書 - 財務諸表への重要性の適用」へのコメント

IV. 議事概要

（審議事項）

- (1) 現在開発中の会計基準に関する今後の計画について

小賀坂副委員長より、「現在開発中の会計基準に関する今後の計画」の公表の文案について説明がなされ、審議が行われた。なお、今後の予定として、第 26 回基準諮問会議（平成 28 年 3 月 4 日開催予定）において当該文書を説明した上で、次回以降の委員会において、当該文書の公表承認に関する審議を行う予定であることが事務局より説明された。

- (2) 税効果会計に係る指針の見直しに関する検討

小賀坂副委員長、前田ディレクター及び淡河専門研究員より税効果会計に係る指針の見直しに関する検討について説明がなされ、審議が行われた。

本日の委員会では、平成 27 年 12 月 10 日に公表した企業会計基準適用指針公開草案第 55 号「税効果会計に適用する税率に関する適用指針（案）」に寄せられたコメントへの対応について、第 31 回税効果会計専門委員会（平成 28 年 2 月 22 日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。なお、次回の委員会において、適用指針の公表承認に関する審議を行うことが事務局より説明された。

また、日本公認会計士協会から公表されている税効果会計に関する実務指針（繰延税金資産の回収可能性に関する事項を除く。）の移管に関連して、開示の検討（税務上の繰越欠損金）について審議が行われた。

さらに、平成 27 年 12 月 28 日に公表した企業会計基準適用指針第 26 号「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」を早期適用した場合の翌四半期における比較情報の検討について審議が行われた。

- (3) IFRS のエンドースメントに関する作業部会における検討状況

小賀坂副委員長及び板橋ディレクターより IFRS のエンドースメントに関する作業部会における検討状況について説明がなされ、審議が行われた。

本日の委員会では、第 25 回（平成 28 年 1 月 26 日開催）及び第 26 回（平成 28 年 2 月 16 日開催）の IFRS のエンドースメントに関する作業部会における検討状況を踏まえ、2013 年中に IASB により公表された会計基準等のエンドースメント手続に関する検討について、主に公表文

書の文案、文書の発効日（強制適用日）、及び、IFRS 第 9 号「金融商品」の発効日及び経過措置について審議が行われた。なお、次回以降の委員会において、公開草案の公表承認に関する審議を行いたい旨が事務局より説明された。

**（報告事項）**

- (1) IASB 公開草案「IFRS 実務記述書 - 財務諸表への重要性の適用」へのコメント  
資料の提示をもって報告するものとされた。

以 上